

狭山市避難行動要支援者避難支援プラン(個別避難支援計画書)【新規・変更】

(宛先) 狭山市長

私は、狭山市避難行動要支援者避難支援プランの趣旨に賛同し、私の避難に係る支援計画を作成することを希望します。
また、私の計画書を市関係部局間で共有するとともに、避難支援者及び地域支援者へ提供することに同意します。

(★申請日) 令和 年 月 日 ★氏名(自筆)

※代理申請の場合はこちらもご記入ください

住所 _____ 氏名 _____ (続柄 _____)

1 申請者(要支援者)個人情報 ①

★氏名	フリガナ	★生年月日	明・大・昭・平・令	
		・年齢	年 月 日 歳	
★住所	(郵便番号 _____)	★性別	男 ・ 女	
		★電話番号		
		★携帯電話番号		
		FAX		
		★世帯構成	(本人含む) _____ 人	
自治会		保険証番号	担当民生委員	
★要支援者種別	一人暮らし高齢者	寝たきり高齢者	認知症高齢者	
	身体障害者手帳所持者※2 (視覚障害・聴覚又は平衡機能障害・音声機能、言語機能又はそしゃく機能障害・肢体不自由・内部機能障害)		75歳以上高齢者	
	精神障害者保健福祉手帳所持者	難病患者(※3)	療育手帳所持者(※4)	要支援・要介護認定者(※1)
	その他(_____)			
	※1~4 介護度・病名・等級 記入欄			

2 申請者(要支援者)個人情報 ②

居住建物	構造	木造 ・ 鉄骨造 ・ 鉄筋コンクリート造	階数	階	建築年月	S・H・R	年 月
★普段いる場所	(昼間)	(夜間)					
★治療中の病気	・ ない	血液型	(RH) + -				
	・ ある 下記に記入してください	病院名	TEL				
★投 薬	・ 飲んでいない	・ 飲んでいる(薬名 _____)					
★装 具	・ 使っていない	・ 使っている(装具名 _____)					
★避難行動時の留意点	1 音が聞こえない、聞き取りにくい	8 家族や知人を判別できない	15 特殊な治療薬剤を常用している(薬名: _____)				
	2 物が見えない、見えにくい	9 精神的な動揺がはげしい					
	3 声が出ない、うまく話せない	10 車椅子を使用している	16 特に知っておいてほしいこと				
	4 立つことや歩行がうまくできない	11 杖や歩行器を使用している					
	5 支え等につかまることができない	12 在宅酸素療法をうけている					
	6 座った姿勢がとれない	13 人工呼吸器をつけている					
	7 状況を理解しにくい	14 人工透析をうけている					
一時集合場所		指定避難所					

支援者へのお願い

災害発生時または発生のおそれが高まり、要援護者への援助や避難が必要になった時は、ご支援をお願い致します

- 地域の人がお互いに助け合う取り組みです
- 要支援者への支援を必ず約束するものではありません
- 支援を行う方が法的、個人的に責任を負うものではありません

【避難支援の際の行動のめやす】

◇ 災害発生 または 災害発生のおそれが高まった (市から避難情報が発令されます)

避難情報とは



①避難準備情報

要支援者など、避難に時間がかかる方が避難を始めなければならない段階であり、被害の発生する可能性が高まった状況

②避難勧告

通常の避難ができる方が避難を始めなければならない段階であり、被害の発生する可能性が明らかに高まった状況

③避難指示

災害が発生しそうな兆候や現在の切迫した状況から、被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況

◇ 自分の家族の安全確保

- まず自分の身を守ってください
- 家族の安否確認をしてください



◇ 要支援者の安否確認・避難誘導

- 要支援者への声かけをしてください
- 要支援者の状況把握をしてください(ケガの状況など)

◆ 避難が必要な場合の支援

- 個別避難支援計画書(要援護者自身で保管)を携帯してください
- 避難場所までは安全なルートで避難支援してください
- 避難先では要援護者の状況を責任者へ伝達してください
- ※水害の場合は状況に応じて建物の上階に避難してください
- ※長期の避難が予想される場合は、可能な範囲で普段服用している薬品や使用している用具等を携行してください



【平常時のこころがけ】

近年の災害事例から、災害発生直後は、地域の人々が地域を支えることの重要性が報告されています。

いざという時、要支援者の一番の支援者をご近所です。日頃からの地域のみなさんの関わり合いが欠かせません。